



Hokkaido Lifelong Learning Association

# ほっかいどう 生涯学習 Lifelong Learning

ホームページアドレス <http://www.hsgk.jp>

新しい自分との

出会いや発見がきっとある



## 目次

21年度事業計画の概要 .....	2	ほっかいどう学検定のお知らせ .....	5
道民カレッジからのお知らせ .....	3	・随想 8 .....	6
「ほっかいどう学」実践講座のお知らせ .....	4	・視聴覚センターからのお知らせ .....	6

## 生涯学習協会「21年度事業計画の概要」

財団法人北海道生涯学習協会

事業名	内 容
1 生きがいづくり生涯学習促進事業 「人生を共に豊に過ごすために」	国際化、高齢化、情報化等社会の変化に対応し、生涯にわたって生きがいのある人生を送るために、「いきることはまなぶこと」の視点から、道民の方々に学習の機会を提供する。 期 間 5月～12月 会 場 全道10教育局管内毎1会場 参加対象 一般道民 人 員 1会場100人 延べ1000人 聴力障害者の方々のために、手話通訳者を配置する。
2 広報紙発行事業	会員及び生涯学習に係る機関・団体等に、広報紙を通して情報を提供し、生涯学習の振興に寄与する。 年4回発行 1回 1200部
3 「ほっかいどう学」かでの講座事業	「ほっかいどう学」の推進のため、かでの講座を開設し、道民への学習機会提供の拡充を図る。 なお、講座の開設にあたっては、道民のニーズや今日的な課題に焦点を当て、新たな北海道の創造を目指す講座を提供する。 講座回数 10回 開催期日 9月～1月 会 場 かでの2・7 講座時間 1講座2時間 講 師 札幌市内を中心に講座のテーマに合った講師
4 『ほっかいどう学』大学放送講座・支援事業	広く道民の学習活動を支援するため、大学放送講座のテキストを作成し、新たな「ほっかいどう学」の取組である地域の学習活動への活用を図る。 作成部数 600部 発行時期 8月下旬
5 「ほっかいどう学」ネットワーク推進事業	道内各地で実施している「地域学」とのネットワークを図り、地域の人材育成や地域づくりのノウハウを学ぶため、「ほっかいどう学実践講座」を広域的な事業として開催し、地域における生涯学習の提供の場を増やすと共に、地域づくり、人づくりを一層推進する。 開催期日 平成21年4月～ 会 場 道内6会場 対 象 地域学及び地域づくりに関心のある道民 内 容 基調講演 「地域学」や「地域づくり、人づくり」に関わる講演 「地域づくり」等実践交流会(3～4名) 先進地3～4市町村の事例発表 まとめ
6 「道民カレッジ」ボランティア 「カレッジ・ボラ」活動支援事業 継続	道民カレッジの充実と推進を図るため、「道民カレッジ」ボランティアを置き、学習の成果を生かし、自己実現を目的とした自主的・自発的なボランティア活動を支援し、更なる道民カレッジ運営の活性化を目指すとともに、ボランティアを核とした地方展開を推進する。 人 数 本部ボラ 25人程度(札幌・石狩管内) 地方推進ボラ 各管内5人程度 活動場所 かでの2・7 9階、地方事務局 活動内容 組織活動 広報活動 講座活動 相談活動
【特別会計事業】 7 ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ(道民カレッジ)事業	学習ニーズの多様化、高度化に対応するため、学ぶ意思のある道民のすべてを対象とし、産学官が連携して総合的な学習機会を提供するとともに自立した北海道の創造に寄与する人材を育成する。 主催講座 1 道民カレッジ「ほっかいどう学大学放送講座」 放送回数 8回 放送開始 21年10月 参加者 一般道民 2 「ほっかいどう学」出前講座 12回 参加者対象 放送講座受講者と一般道民

事業名	内容
	道民カレッジ連携講座 講座数(前期・後期合計) 2,200講座 学生目標数 24,000人(現在22,622人) 普及啓発・情報提供 ・道民カレッジガイドブック作成 ・募集ポスター、リーフレットの作成 ・カレッジの手帳の作成 ほっかいどう学検定 ・期日 平成21年11月 ・会場 札幌市、旭川市、函館市、帯広市、釧路市
8 生涯学習情報資料の展示・提供事業 まなびの広場	生涯学習に関する図書・資料パンフレットなどを展示・提供及び道内市町村・団体の生涯学習への取組や成果等を紹介する。 ビデオレファレンスコーナー(ビデオ・LD・エルネット ふるさとコーナー(道内市町村の広報誌及び情報パンフレット 道民カレッジ情報コーナー (ガイドブック・リーフレット・ポスター及び連携講座関係資料 展示コーナー (道内市町村及び団体の生涯学習活動における実践・成果を展示
9 教材貸出事業	学習活動に有用な視聴覚教材を官公庁、学校、社会教育関係団体等に貸し出すことにより、生涯学習活動の振興を図る。 視聴覚教材貸出 (16ミリフィルム、ビデオ、DVD等収蔵教材約5,200本
10 北海道体育指導委員協議会事業受託	北海道体育指導委員協議会の事業を委託することによりスポーツの振興等生涯学習社会の実現に寄与する。
11 北海道教育関係公益法人協会 事業受託	教育関係公益法人の健全な育成を図るための研修会を開催するなど公益法人協会の業務を処理する。

1 学生数 22,622名 (男子9,866名 女性12,756名)

(1)管内別学生数

管内	石狩	札幌市	渡島	檜山	後志	空知	上川	留萌
学生数	8,053名	5,444名	1,046名	1,014名	1,297名	1,015名	2,924名	765名
管内	宗谷	網走	胆振	日高	十勝	釧路	根室	
学生数	741名	1,448名	693名	1,110名	704名	1,041名	771名	

2)年齢別学生数

年代	学生数	%
10代	256名	1.13%
20代	2,676名	11.83%
30代	1,859名	8.22%
40代	2,163名	9.56%
50代	3,230名	14.28%
60代	3,789名	16.75%
70代	4,350名	19.23%
80代以上	2,060名	9.11%
不明	2,239名	9.90%

3)職業別学生数

職業	学生数	%
会社員	1,342名	5.93%
学生	2,589名	11.44%
公務員	3,644名	16.11%
自営業	809名	3.58%
主婦	3,423名	15.13%
団体職員	490名	2.17%
無職	7,145名	31.58%
その他	1,190名	5.26%
不明	1,990名	8.80%

4)称号取得者数

学士	300名
修士	193名
博士	141名
学長奨励賞	23名
実人員	191名

2 「ほっかいどう学」出前講座

回数	実施日	開催地	参加者数	テーマ
第1回	H20.10.18	伊達市	64名	世界に誇る遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」を学ぶ
第2回	H20.11.22	厚岸町	39名	厚岸町の自然環境とまちづくり ~ 地球温暖化と地域環境への影響 ~
第3回	H20.12.14	当別町	28名	地域の子どもは地域で育てる ~ 少子化に負けない魅力ある子ども会活動 ~
第4回	H20.12.20	占冠村	80名	地域医療・福祉とまちづくり ~ 住民の自律と地域とまちづくり ~
第5回	H21. 1.17	津別町	67名	ボランティアによる人材育成
第6回	H21. 1.24	帯広市	34名	地域の価値、再発見 ~ 帯広・十勝の未来をデザインしてみませんか ~
第7回	H21. 2. 1	浦河町	50名	地域づくり講座 ~ ボランティアフェスティバル 魅力ある地域づくりのために人の輪を広げよう
第8回	H21. 2. 2	羽幌町	38名	シニア世代の地域参加
第9回	H21. 2.17	釧路町	218名	自分の町(まち)を知っていますか? ~ 町を知り町と共に生きる ~
第10回	H21. 2.19	鹿部町	39名	海と温泉(いでゆ)のまち・鹿部温泉を活性化させる
第11回	H21. 2.25	真狩村	70名	食に関する取組みでひととまちを元気にする ~ 農産物の加工をとおしての生涯学習と食文化の発信 ~
第12回	H21. 3.29	奈井江町		健康と教育との連携によるまちづくり
			726名	

学生数・称号取得者の状況

ほっかいどう学出前講座実施状況

二月二十八日現在

道民カレッジからのお知らせ

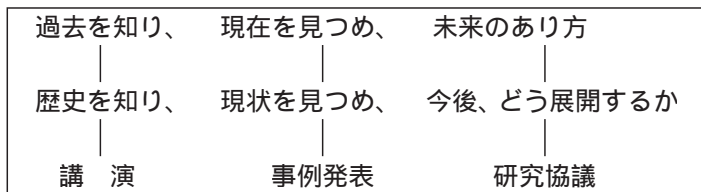
平成21年度「ほっかいどう学」ネットワーク推進事業

# 「ほっかいどう学」実践講座 ~ 地域に根ざした活動を考える ~

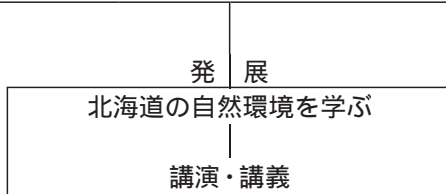
- 1 趣旨 道内各地で実施している「地域学」とのネットワークを図り、地域の人材育成や地域づくりのノウハウを学ぶため、「ほっかいどう学」実践講座を広域的な事業として開催し、地域における生涯学習の提供の場を増やすとともに、地域づくり・人づくりを一層推進します。
- 2 主催 (財)北海道生涯学習協会
- 3 共催 (財)北海道教職員厚生会
- 4 学習テーマ

## 「ほっかいどう学」(歴史・文化、自然環境)を学ぶ

道民自身が、北海道(それぞれに地域)について、



を 考 へ る 協 働 の 学 び で す。



\*「ほっかいどう学検定」の公式問題集から北海道の自然環境を学びます。

### 5 具体的な進め方

・開講式			
・講 演	講師のテーマ	「北海道(地域)の歴史をひもとく」	90分
・事例発表	郷土史研究家	「我が町の歴史」	60分
・研究協議	グループワーク	「これからできること」	60分
・講義	講師	「北海道の自然環境」*教材として検定公式問題集	90分
・閉講式			

### 6 日程

・釧路会場	8月23日(日)
・函館会場	8月30日(日)
・北見会場	9月6日(日)
・帯広会場	9月13日(日)
・旭川会場	9月27日(日)
・札幌会場	10月4日(日)



- 7 参加者 各会場 参加期待数 100名
- 8 参加費 ひとり 1,000円



(財)北海道生涯学習協会内  
道民カレッジ事務局  
札幌市中央区北二条西七丁目  
か だ る 2・7 (九階)  
電 話 〇一一一三三一四一一  
(内線三六三三三)  
F A X 〇一一二八一六六六四  
e-mail: domincollegevol@key.ocn.ne.jp

道民カレッジボランティアには、カレッジ事務局で活動している「本部ボランティア」の方々の他に、道内各地域で活動している「地域ボランティア」の方々もおります。地域ボランティアの方々は、それぞれの地域の団体や機関等へ講座の連携依頼やカレッジ生の勧誘、学習相談、事務局への地域情報の提供活動を行っております。道民カレッジでは、随時ボランティアを募集しておりますので希望される方は左記にご連絡ください。

道民カレッジボランティアの募集

# 検定第2弾！ 骨子案決まる！

## 学んで生かそう北の未来 ほっかいどう学検定

検定日	<b>平成21年11月1日(日)</b>
	午前10時より「歴史・文化」 入門、上級 午後1時より「自然環境」 入門、上級
会場	・札幌会場(北海道大学) ・旭川会場(旭川医科大学) ・函館会場(函館大学) ・帯広会場(とかちプラザ)〔予定〕 ・釧路会場(教育大学釧路校)
	受検した道民カレッジ生は、単位認定の対象となります。

<b>事前講習会</b>	・期 日 札幌会場 9月6日(日)
	・受講料 「歴史・文化」 1,000円 「自然環境」 1,500円
	・公式問題集(1,000円程度)を用い学習します。 * 受検した道民カレッジ生は、単位認定の対象となります。 * 札幌市以外の会場につきましては、後日ほっかいどう学検定のホームページか、または下記あてにお問い合わせください。

<b>出題領域</b>	<b>北海道の歴史・文化</b>	<b>北海道の自然環境</b>
-------------	------------------	-----------------

<b>検定の種類・出題数・検定時間</b>	
入門検定(基礎知識編) 50問～60分	上級検定(応用編) 100問～90分

<b>検定料</b>	入門検定 一般 2,500円 大学生 2,000円 高校生 1,000円
	上級検定 一般 3,000円 大学生 2,000円 高校生 1,000円

お問い合わせ 「ほっかいどう学検定推進機構」事務局((財)北海道生涯学習協会内)  
〒060 - 0002 札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7ビル(9階)  
電話011 - 231 - 4111 (内線36 - 343、370)  
Eメール: college@hsgk.jp http://www.hsgk.jp/kenntei/index.html

「ほっかいどう学を学ぶ会」  
が設立される

去る二月二十八日に「平成二十年  
度ほっかいどう学検定合格者の集  
い」が実施されました。  
この集いの終了後に「ほっかいど  
う学を学ぶ会」の設立が検定事務局  
より提案され満場一致で会が立ち上  
がりました。

・目的 「ほっかいどう学」の学  
習・研修を通し、北海道を  
より理解するとともに会員  
及び相互の学習意欲を喚起  
することを目的とする。

・対象者 検定に合格した人たち  
・事業内容  
一、研究会・研修会の開催  
(一) 道南歴史探訪バスツアー  
十月十七日、十八日  
(二) 研究発表会の開催  
平成二十年十一月  
平成二十二年五月  
平成二十二年七月、十一月  
平成二十二年三月

二、機関紙の発行(年三回)

・役員  
顧問

会長 合田 一道  
副会長 江本 嘉徹  
幹事長 林 征範  
監査 町田 宏子  
河地 良一  
井上 和男  
三木 航一

随想

「道民の気持ち」

昨年のことであるが、北海道新聞の四月二二日付けの記事がずっと気になっていた。今回はそのことを紹介する。それは「北海道本なまらブーム！」と題したもので、慣習やグルメ、歴史などの北海道を素材とした「北海道本」がベストセラーになってきているというものである。

例えば、紀伊国屋札幌本店の「今週のベスト」（四月一三日〜九日）では、『北海道の歴史がわかる本』（亜璃西社）が単行本の五位、『なんもかんも北海道だべさ!!』（双葉文庫）が文庫本で三位、『アイヌ語地名で旅する北海道』（朝日新書）が新書本で一位という内容である。これらに共通しているのは、足元を見つめ直して北海道の魅力を再確認している点であると報道されている。今までは固い学術書や地味なテーマが多かったが、

一昨年あたりから傾向が変わって、地元の食べ物とか文化について柔らかく扱う本が増加していることも指摘されている。『札幌秘境100選』（マップシヨップ）、『札幌はなぜ、日本人が住みたい街NO.1なのか』（柏艚舎）、『なまら北海道だべさ!!』（双葉文庫）、『ださんこそウルフード』（亜璃西社）、『続

札幌はなぜ、日本人が住みたい街NO.1なのか』（柏艚舎）などもベストセラーになったという。柔らかない本、読者目線に近い本、地元本などという言葉がその記事の中に登場している。そのこと自体は本離れから救うという点では良いことであると思う。「地方からの発信」という点もうなずける。

私自身の関係からは『北海道の歴史がわかる本』が気になるが、確かに柔らかない本で、読み物的な書かれ方をしており、専門書ではない一般書である。しかし専門家に選べばいい話ではあるが。

閑話休題。昨年七月『ほっかいどう学検定公式問題集「歴史・文化編」』が北海道新聞社から出された。文字通り、それは「ほっかいどう学検定」のための問題集であるが、実に面白い内容である。それが、一万一千部も印刷されたと聞いているが、まさしくベストセラーである。道民が北海道のことを愛するようになった証しでもあろう。昨年の第一回目のはっかいどう学検定が成功したのも、このような道民の気持ちがあったと思う今日このごろである。

(財)北海道生涯学習協会

会長 宇田川 洋

視聴覚センターからのお知らせ

視聴覚センターでは、視聴覚教材（ビデオ・DVD・一六mmフィルム）を無料で（送料別）貸出しています。視聴覚センターのHPからも直接教材の検索・予約ができます。二十年度購入の教材の一部をご紹介します。

- 「解雇される女性」 Part2 DVD二十三分
- 「パワー・ハラスメント」 DVD二十一分
- 「紙屋悦子の青春」 DVD百十三分
- 「今問われている ボランティアとは」 DVD二十分
- 「ホームタウン」 DVD五十四分
- 「幼児・児童虐待」 DVD二十五分
- 「高齢者虐待」 DVD二十六分
- 「夢のつづき」 DVD四十分
- 「障害のある人とのふれあい福祉」 DVD二十三分
- 「ガイサンシーとその姉妹たち」 DVD百七十分
- 「ヒロシマ・ナガサキ」 DVD百十二分
- 「星の王子さま」 DVD三十分
- 「昭和二十年」 DVD四百二十一分
- 「じぶんのからだ」 DVD十五分
- 「地球温暖化・オゾン層の破壊」 DVD三十分
- 「大気汚染」 DVD三十分
- 「水質汚染・海洋汚染」 DVD三十分
- 「自然環境の破壊」 DVD三十分

TEL 〇一 一三一 四一一  
内線三六 三四三  
FAX 〇一 一八一 六六六一  
E-mail: college@hsgk.jp

編集後記

明るいニュースはないものでしょうか。

- ・まだ続く世界的金融危機、株価の低迷
- ・またぞろ、政治献金問題
- ・また、「秘書が」となるのか
- ・また、宿敵に負けた
- ・WBC予選、日本チームは強いのか弱いのか
- ・まだ早い、春到来
- ・三月は、天候不順の日が続く
- ・まだまだ早い、厚手の下着とさよならするのは
- ・なにはともあれ
- ・一日も早く好転（天）するよ
- ・うに願う毎日だ

本年も当協会は、事業の充実を目指し、北海道の生涯学習の推進に邁進して参ります。皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

